

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	NICU/GCUにおける耐性菌アウトブレイク予測因子の探索		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は、最新のデータ分析技術を使って、薬が効きにくい細菌（薬剤耐性菌）の感染を予測する仕組みを作ることです。この仕組みを使うことで、感染が広がる可能性を早めに把握し、対策を取ることができるようになります。 研究では、過去の診療録から赤ちゃんやそのお母さんに関する情報を調べ、検査結果から細菌の情報を集めます。それらを整理して分析することで、より効果的な予測方法を見つけ出します。 この研究を通じて、感染の広がりを防ぎ、赤ちゃんたちの安全を守ることを目指しています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2027年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	本研究では、2021年1月から2023年12月の間に、東京慈恵会医科大学附属病院のNICU（新生児集中治療室）やGCU（新生児回復室）に入院した赤ちゃんとそのお母さんを対象にしています。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	患者データ、母体データ、薬剤耐性菌データ、環境データ、抗菌薬使用データ	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 小児科学講座
		氏名	いこま なおひろ 生駒 直寛
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の管 理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年1月14日
【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学 小児科学講座 研究責任者：助教 <small>いこま</small> 生駒 <small>なおひろ</small> 直寛 窓口担当者：助教 <small>いこま</small> 生駒 <small>なおひろ</small> 直寛 電話番号：03-3433-1111（内線：3321 小児科医局） 対応時間：午前9時～午後4時／休診日を除く

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。